

アリランチャリティコンサート

遠藤 弘子

7月6日小樽マリンホールに於いてアリランチャリティコンサートが開催されました。16年目、16回目のコンサートです。開催に先立って、司会の秋野先生〈小樽保健所所長、湯浅さんの友人〉よりALS協会北海道支部長深瀬さんへ寄付金が贈呈されました。

舞台は哀愁に満ちたアリラン3曲に始まり、韓国舞踊、黒い花びら等、歌謡曲10数曲披露され会場を沸かせました。

さて、この紙面には当日のアリランコンサートの舞台写真が沢山載るはずでした。が、手違いで写真入手できませんでした。恥ずかしながら湯浅さん宛てに書いた手紙を掲載します。当日の雰囲気と湯浅さんの人となりを感じ取って頂ければ幸いです。



湯浅聖子様

前略

テーブルの上に今ALS北海道5周年記念誌が置かれています。第一回アリランコンサートの写真が沢山掲載されています。湯浅さん、十数年前と少しも変わらないですね。それに声、流石元KBS専属歌手、声量があるし見事ですね。また、韓国古典舞踊、凛として美しい動きに見惚れました。私の隣の席の人（湯浅さんの韓国語の生徒さんでしょうか）が教えてくれました。「湯浅先生は舞踊のレッスンを韓国まで受けに行っているのだよ」。このコンサートの為に随分努力なさっていたのですね。

このコンサートの始まりは、貴女が山形のALS患者カノウチさん

をテレビ（徹子の部屋）で見たのがきっかけでしたね、私も見ていました。カノウチさんの奥さんが文字盤を駆使して通訳していました。呼吸器装着選択は、私の為にかけて欲しいと奥さんが懇願したという事での決断だったと語っていました。その後カノウチさんは、多くのALS患者に尽力なさっていた事を聞いています。

この度のコンサートでは、一ヶ月前に出会ったALS患者Kさんとご一緒できました。告知後間もないので、色々辛い思いをしているのだと拝察します。娘さんと一緒に湯浅さんの歌に合わせて手拍子して楽しんでいるKさんを見て、思い切ってお誘いして良かったと思いました。音楽は、体内のストレス物質を軽減するそうです。Kさん母娘に、とても良い時間をプレゼントしていただきました。素晴らしいコンサート16年も継続有難うございます。貴女を支えてくださるご友人達、ご主人、秋野先生、日舞のエビナさん皆様にも感謝です。

草々

